

1	審議会名	丸子地域協議会
2	日 時	令和6年3月14日(木曜日) 午後1時30分から午後2時30分まで
3	会 場	丸子ふれあいステーション 3階 会議室
4	出席者	小林勉会長、宮下由紀副会長、石合茂委員、伊藤孝二委員、内堀茂委員 金田弘美委員、齋藤由紀子委員、中沢誠委員、中山康昭委員、堀内茂一委員 山岸吉彦委員、山本幸恵委員、割田栄二委員
5	市側出席者	中村丸子地域自治センター長、春原丸子地域自治センター次長兼地域振興課長 小林丸子地域振興政策幹兼丸子地域教育事務所長、青木丸子市民サービス課長 渡辺丸子産業観光課長、竹花産業企画担当政策幹 朝倉丸子地域建設課管理担当係長 矢ヶ崎丸子・武石上下水道課長補佐兼業務係長兼上下水道係長 坂口丸子学校給食センター所長 久保田地域振興課長補佐兼地域政策担当係長、佐藤主査、中島主任、藤野主事
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 ・ 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和6年3月19日

1	開 会 (センター次長)
2	あいさつ (小林会長)
3	会議事項 (進行 小林会長)
	(1) 第9期の地域協議会の活動について (まとめ) <span style="float: right;">【資料1】</span>
	①分科会のまとめ
	・資料に沿い、各分科会長より分科会での検討状況や第10期への申し送り事項を報告。
	ア 福祉・子育てに関する分科会 (福祉・子育てに関する分科会分科会長)
	福祉・子育てに関する分科会は、子どもの居場所づくりというテーマで進めてきた。今の子どもの状況を確認するため、丸子中央小学校・塩川小学校・丸子北小学校の教頭先生や校長先生との懇談をしたが、学校と地域によっていろいろ違っているように感じた。また、市の出前講座で、児童クラブやコミュニティスクールについての学習、丸子ファーストビル「あったまるこ」の見学を行った。
	申し送りとしては、子どもの特性によって支援すべき方向性が異なることを踏まえ、子ども食堂や児童クラブ等、多様なテーマの中から検討課題を絞りこんでいきたい。
	イ 公共交通に関する分科会 (公共交通に関する分科会分科会長)
	循環バス「まりんこ号」に代わる新たな公共システムということで検討を行ってきた。丸子地域に合ったより良い交通システムとなるように、循環バスからデマンド交通への転換についての意見書を市長に提出した。昨年10月にデマンド交通が運行開始してからは、実績データに基づき利用促進に向けて意見交換等行ってきた。
	第10期では、デマンド交通が地域のためになるシステムだとわかっていただけるように行動していきたい。
	ウ 文化財・歴史分科会 (文化財・歴史分科会所属委員)
	令和5年7月第3回分科会で、テーマを「文化財・歴史分科会」に決め、上田市文化財保存地域計画を基に丸子地域の遺跡・文化財について調査研究を進めてきた。丸子郷土博物館及び上田市公文書館視察を行った。
	申し送り事項として、更に丸子地域の遺跡・文化財について調査研究を深め協議していただきたい。

< 質疑・応答 >

なし

②各委員からの感想

(委員)

地域協議会委員を1年で交代すると何をしているのかわからないうちに終わってしまう。自治会長をやりながらも大変だが、もっとうまく連携ができると良い。また、新しい委員には十分なレクチャーをしていただきたい。

(委員)

2年間、デマンド交通についていろいろ協議した。今までのまりんこ号から180度変わって、次世代型の交通を見据えたうえでの改革の第一歩だと私は捉えている。4月からバス路線が大幅に変わってしまうが、その穴埋めをデマンド交通ができないかと考えていただければと良いと思う。今後考え方が違う時代になってくると思うが、先に繋げていけるようなものにしていければ良い。

地域には建設的な意見をもって活動する人もいれば、やりたい人に任せればよいという消極的な考え方の人もいる。その中で地域を発展させていくというのは大変なことだと思う。私はこの地域に住んでいるかぎり、自分ができることを考えていきたいと思う。

(委員)

個人依頼の委員がどのような立場かわからないし、最初に会議を構成するメンバーについてお互いに理解し合うことが大事だと思う。

また、交通の問題は大きな課題だと思う。とくに旧上田市へ通っている子どもが夕方に部活が終わってから帰って来るバスがない。親の負担が大きくなることは目に見えている。

(委員)

今後の丸子を担う子どもたちのために、これからも住み続けたい町だと思うようなまちづくりをしていただきたい。

(委員)

1期2年の間に西内小学校や保育園の閉校閉園、クアハウス・鹿月荘の廃止、路線バスの減便等があり、西内に住んでいる者にとってはとても残念。

福祉・子育て分科会に所属していたが、申し送り事項の子どもの居場所については今後実現してほしい課題だと思う。

(委員)

2期4年の間、新型コロナウイルス感染症で活動が制限され残念だった。今後は以前のような活動をしていくことを願う。

(委員)

デマンド交通については、かなり要望等を申し上げた。今後も登録者数が増えるような努力をしていただきたい。

一つ残念なのは、市民の森のスケート場廃止について出した意見について、事業に差し支えないように補助事業等で実現あるいは継続的にやっていけるように努力するという答弁だったが、来年はスケート教室がないと聞いた。答弁と異なり残念に思う。

それから協議会の委員の在り方について、この会議は市から施策について意見を聞く場。何も意見がなければ、市側からすれば問題なく施策を進めていいと感じる。あわせて議会においても、地域協議会で問題がなければ丸子地域全体が問題ないと受け止められると思う。地域の代弁者である委員が、意識をもって、どんどん質問・意見を出すべきと思う。発言が少なく残念に思う。

(委員)

公共交通に関して、上田・大屋間についてはしなの鉄道、大屋駅・丸子間あるいは鹿教湯間については路線バスと、乗り継ぎによる公共交通の確保によって減便の影響が緩和されるような提案も一案だと思う。デマンド交通もあるが、住民の足についての対策をぜひ第10期地域協議会で提案いただきたい。

水道事業広域化の検討について、私も上下水道局の職員だったこともあり、ときどきOBと意見交

換をしている。上下水道局の現役職員や市長・副市長との意見交換も行った。

上田・長野間の水道事業統合広域化について、統合が前提のような資料がたくさん示されている。今後、令和6年度に行われる上田市で単独経営を継続した場合の試算と、統合された場合との比較も地域協議会で示されると思う。今まで、広域化した方が上田市の場合メリットがあるような資料が出ているが、水道料金だけで判断するのはどうかという思いがある。たしかに上田市内においては、旧塩田・川西が県営水道エリアであり、同じ市民でありながら料金体系が違うという事実がある。事業者が一緒になれば違いがなくなるメリットはあるが。

能登半島の地震の被災状況を見ると、復旧するには道路を掘る必要があると考えた時に水道と下水がそもそも別々の事業者で果たしてうまくいくのかという疑問もある。

それから合併の効果ということで、旧真田町の土屋水源や滝の入水源を活用して上田市の水源として使う事業もすでに始まっている。また、人口減少から給水人口も減り、給水量も減る。合併から18年経過する中で今が合併の効果が出てくる時期。だから、今すべてを動かさなければいけないのかということも疑問を感じている。災害時の対応等を考えると、必ずしも良いものではないと私は思う。引き続き地域協議会に残る委員には、関心を高くもち慎重に議論していただきたい。

(委員)

市の提案に対してこの会議で出た意見がどの程度反映されたのか疑問に感じる。一年だけでは何もわからないまま終わってしまう。二年で引き継いでいけるような体制を作っていただければと思う。

(委員)

公共交通に関する分科会では、まちづくり会議との合同交通部会において大変活発な意見交換がなされた。この2年間は地域循環バスまりんこ号の廃止、そして丸子デマンド交通の運行開始と地域公共交通の大きな転換期を迎え、まずは一定程度の成果は見られたのではないかと思う。今後も丸子デマンド交通のさらなる発展のため、分科会としてしっかり見守っていく必要がある。引き続き定期的な検証・検討を行ってほしい。

また、路線バスの減便などで困っている東内地区、西内地区、また交通弱者である学生のことを忘れないでほしい。東内・西内地区では親が車で送り迎えをしている。負担を少しでも軽く出来るような方向を考えてほしい。

(委員)

だんだんわかるようになってきたが、スタート時は何もわからなかった。たまたま丸子まちづくり会議に関わっているため、議事内容についてわかる部分があった。そういう面で地域協議会が自分のために役に立っていると感じた。

問題提起された会議の中だけで検討するというのは難しい部分もあると思う。資料は事前に送付されるが、説明があったうえで検討する中で、次回に持ち越すような形も必要な議題もあったと思う。できればもう少し審議させていただきたい。

分科会について、目標として掲げたものがなかなか形にならないのは歯がゆい。今後もう少し突っ込んで形にしていきたい。

(委員)

西内小学校の統廃合と西内保育園の廃園には胸が痛んだ。4月から西内小の児童が不安なく中央小に通学し、親も安心できるような環境を整えていけたらいいと思う。

交通部会に関して、路線バス減便も受け、デマンド交通はずっと変化していかなければならないと思っている。既存のバス会社が入っていても住民が困っているなら西内・東内、大屋の方まで拡大する検討はしていくべきだと思う。運行時間の延長や休日の運行について、タクシー会社の営利もあるが、折り合いをつけて住民が喜ぶ形で検討しないといけないと思う。これからバージョンアップをすることが大事だと思う。来期も交通部会で検討していきたい。

また、水道事業の広域化について今後注視していきたい。

【センター長挨拶】

・中村センター長より、地域協議会参画への御礼。

4 その他

(1) 今後の協議会日程について

第10期丸子地域協議会委嘱式及び第1回

4月25日(木)午後1時30分 丸子ふれあいステーション3階会議室

(2) その他

5 閉会